

## 耐火物誌用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は，和文又は英文。
- 2) 用紙：A4判白紙に上下30mm，左右20mmの余白を設けこの枠内に記し，1ページに収める。
- 3) 体裁：年次学術講演会概要テンプレートに従うこと。特に字体はそれぞれ指定されたものにする。 (英数字は半角，カタカナは全角を使用する。)
- 4) 表現：
  - ① 原稿は目的，研究手法，成果，結論等が理解しやすい簡潔な表現とすること。題名は具体的かつ内容を的確に表すこと。
  - ② 商品名，一般的でない略号等は原則として用いない。
  - ③ 図表はすべて英文とする。(図表中の説明も英文とする。ただし本文中では図1，表2とゴシック太字とする。)
  - ④ SI単位を使用。(例：/MPa，/kg·h-1，/m·s-1，/g·cm-3，/W·m-1·K-1，/mass%)
  - ⑤ 顕微鏡写真のスケールは必ず写真内にいれる。(写真は，図として扱う。)
- 5) 提出：作成した原稿は，メール添付データで年次講演会事務局に提出する。
- 6) 査読：応募原稿はプログラム委員会において，題目・形式・印刷効果等を中心とした査読を行い修正を依頼することがある。
- 7) 発表論文は座長の推薦により耐火物誌へ投稿を依頼する。
- 8) 著作権：耐火物技術協会に属する。

## TAIKABUTSU OVERSEAS 用原稿作成要領

- 1) 言語：原稿は英文。(協会での翻訳希望者は耐火物誌用原稿のコピー左肩に翻訳依頼と朱書し，余白に特殊用語のみ英語を朱書して提出する。)
- 2) 用紙・体裁：講演題目，著者及び本文は A4判用紙に大きめの活字でベタ打ち(フロッピー添付又はメール添付)し，図表は耐火物誌用と同じものを拡大してA4用紙に1図表/枚とし，写真は陽画を提出する。(レイアウトは協会で行う。)
- 3) 校正：内容については触れないが，英文としての校正をすることがある。
- 4) 掲載辞退：都合により掲載を辞退するときは，耐火物誌用原稿のコピー右肩に掲載辞退と朱書して提出する。(辞退しても発表記録として題目と発表者名は掲載される。)

別表：講演発表分類表

分類	分野・内容	分類	分野・内容
1	基礎・評価・分析技術	7	製鉄
2	原料	8	精錬(非鉄含む)
3	耐火物製造技術	9	鋳造(非鉄含む)
4	設計・施工・補修及び機器	10	ガラス・セメントその他工業炉
5	定形耐火物	11	焼却炉・廃棄物熔融炉
6	不定形耐火物	12	その他